

若い人に戸建てを提供し、集合住宅に入る。こういう仕組みを作りたいと検討しています。

江戸 今年は、フロントイクラの計画を1日も早く公表したい。高齢者住宅も再開発計画の中にあります。施設の中に住み、働く。花を植える、掃除などパートで雇用する。今年はある程度具体的に提示したい。

市長 中心市街地活性化については、市としても関係団体と話し合いを始めましたが、再開発との関わりはどう考えていますか。

江戸 先頃、商業者の有志として中心市街地の「地域」を要望として提出しました。再開発という手法でこれまで計画を立てているので、中心市街地活性化の核として取り上げてもらえれば嬉しい。その整合性はだれがどうかたちで取るのか、開運町の地域がいいのかどうかという議論もできるでしょう。中心市街地活性化に再開発の手法、考え方を組み入れてもらえればありがたい。

市長 萌の会はユニークな活動をしています。今年はどうですか。
笹川 樹木を植えて育てるのは時間がかかります。個人が育てた樹木で、年をとって手入れができなくなると、電線に架かってしまっ

て切られていることがある。

市長 それは街路樹ですか。

笹川 庭木だと思います。歩道のすぐ横の木ですが、何十年もたった立派な木を残す手段、支援策はないものでしょうか。

市長 市としても環境、緑を大切にすまちとして、市民のボランティア活動と足並みを揃えてやっていきたい。

笹川 ペットボトルをどうにかできないかと思えます。今は燃えるごみですが、繊維としてリサイクル

ルできるんです。資源ごみとして回収できないでしょうか。

市長 回収コスト、繊維に加工するコストなども含めて考えないとなりません。今の固形燃料にするコストとの比較としてはじめてみる必要がありますね。

江戸 大型ごみは、中には十分使えるものもある。市が民間に払い下げをして、リサイクルショップはできないでしょうか。

市長 ぜひやりたいですね。市民の中にはすでに取り組んでいる

方も大勢います。

江戸 リサイクルのフリーマーケットはすごい人気です。空店舗で大型ごみのリサイクルショップもいい。

市長 美・サイクル館では自転車、家具、机などを再生しています。必要な人がいれば提供は可能です。欧米のガレージセールのようなものが地域社会になじめばいいのですが。

土田 ごみとして出す前に、地域で必要な人が引き取るシステムがあれば。

笹川 ストックする場所と運ぶ手段が必要ですね。

江戸 ごみの分別については、無理だと思いましたが、実際やってみると見事にできました。びっくりしました。

市長 モデル町内会を設けて改善してきました。女性のアイデア、力が大きかったですね。

室本 青年会議所は、今年「21世紀のビジョン」ということで、二〇〇五年から二〇一〇年までのビジョンを制定するために勉強したい。

今年の事業としては緑化。子供が種から育てた草花、花木を景勝地、観光地に植えさせたい。子供たちが大きくなっても残るもの。

フラワーマスターの会なども協議して、場所、種類など選びながら、春から夏にかけてやりたい。

今年はSLが目玉。かなりの人の入り込みが考えられるが、留萌駅に着いて「さてどうしよう」ではなく、来た人たちが楽しんで帰れるようなことを考えたい。

笹川 「やん衆どすこほい祭り」の休止が報道されていました。イベントの規模や内容を練り直してなんとか継続できないのでしょうか。

室本 市内より、外の評判の方が高かったですね。

笹川 子供が関われるようなイベントになれば。

土田 川まつりは、単純なイベントで、人もあまり集まらないがやっています。「どすこほい」の発想は継承したい。

室本 ブランドとしてはネームバリューがある。お菓子や漬物の名前にも波及しているし。

笹川 冬の行事がなくなってしまふと寂しい。雪合戦のような単純なゲームでも、ニシン船と絡めて、何かできないでしょうか。大きくなり過ぎたイベントを市民のレベルに戻すというか。

市長 「祭り」の原点に戻って、みんなの力でなんとか続けたいと

考えています。

土田 礼受牧場の今後のプランはどうなっていますか。

市長 平成10年度に4基風車を建てるので、計6基になります。風力発電は礼受高台は適地なので、もっと増やしたい。観光面でも魅力的。入り口や道路、駐車場を整備し、お土産を売ったり、パーベキューなどができるように考えていますね。

今年、留萌はSLが走る

市長 ところで、留萌市としては、今年はずっと景気の解消に取り組むみたい。留萌市の力では難しいが、国・道とも協力しながら、将来の留萌の産業の強化につながるよう景気対策をしていきたい。ひとつには食品加工の高度化。

土田 礼受は、札幌圏としてイベントなども考えてもいい。礼受の郵便局あたりへの通り抜けも。

笹川 あの高台は、千望台とはまた違った留萌の景色が見えます。市内も暑寒も見えて、すごくきれいな。

市長 小学生の遠足など、もっとオープンな所にしていきたいですね。

水産加工は留萌のイメージ。これを広げて、食品加工全体の強化を図りたい。食べる所、お土産屋などの品物、店舗も含めて、市の経済の幅を広げていかなければなりません。

SLは、5月から10月までの



ニシン稚魚の孵化放流から4年たちました。春にはぜひ戻ってきて欲しい。祈るような気持ちです。

それでは、みなさん今年も元気で頑張ってください。また、留萌のまちづくりのいろいろな力を貸してください。お願いします。

全員 頑張ります！